

No.	コード	会社名	株価	前日比(%)	材 料
1	4099	四国化成ホールディングス	3,755	+22.91	1/29の12時 前期業績の上振れ着地および26年12月期通期業績予想を発表。今期は、増収・32%営業増益・増配を予想。
2	6521	オキサイド	2,221	+21.97	2026年2月期(今期)連結業績予想の大幅上方修正(1月28日大引け後発表):これが今日のストップ高の直接トリガー。営業・経常ともに大幅増益見通しで、市場の期待を大きく上回った。一方で最終損益は下方修正(7400万円黒字→5億円赤字):イスラエル子会社Raicol Crystalsの全株式・貸付金譲渡に伴う特別損失約17億円を計上するため。ただし、これは地政学リスク排除と財務スリム化の「ポジティブな一時的要因」と市場で解釈され、むしろ本業の強さが際立つ材料に。
3	7901	マツモト	886	+20.38	28日取引終了後(大引け後)に発表された新事業構想が直接のトリガー:「次世代DAT(デジタル・アセット・トレジャリー)事業」構想の検討を開始したと開示。学校アルバム主力の伝統企業が、ブロックチェーン×AI×SaaS領域に本格参入する材料として、短期筋・テーマ投資家に強く刺さった。
4	6656	インスペック	665	+17.70	直接的な新規IR開示や会社発表の材料は確認されなかった。ただ、生成AI普及で半導体微細化路線が限界を迎え、チップレット(複数チップの高密度実装)へのシフトが加速。これによりパッケージ基板の重要性が高まり、外観検査装置のリプレース(更新)・新規需要が増大するとの見方が強まった。これが買い材料か。
5	7794	イーディーピー	758	+15.20	人工ダイヤモンド関連テーマの連想買い・テーマ株連鎖が最大の火種。イーディーピー(EDP)の本業は産総研発ベンチャーで、気相合成法による単結晶ダイヤモンドの製造・販売が主力。薄板ダイヤ量産技術が強みで、ダイヤモンド半導体(EV・宇宙・量子コンピュータ向け次世代パワー半導体)の基板素材として不可欠。米国内生産計画が実現すれば直接恩恵期待が強く、市場でテーマ株の筆頭として急騰。
6	6858	小野測器	784	+14.62	29日13:45頃に発表された好材料の連発が上昇理由。これらの発表(決算+次期大幅増益予想+増配+自社株買い)が後場に一気に材料として出たため、買いが殺到して急騰した。